

リーディングDXスクール事業【実践事例】

春日井市立坂下中学校（愛知県）【協力校】

【取組内容①】・TPCやクラウド環境を活用しながら、個の追究と協働での追究を連動させた取組

自 おくの細道

12月4日

全4時間で終了予定です。
やることリストは学習計画シートにあります。全てのタスクを完了させましょう。

「2」の現代語訳は「標準」と「やや難」の2種類にしました。
どちらか一方を選びましょう。（授業では「標準」に取り組み、復習のためにあとで「やや難」に挑戦するなどOK）

| | | | |
|--|--|--|--------------------------------------|
| | <p>学習計画シート「おくの細道」 Google ドキュメント</p> | | <p>「2」現代語訳（標準） Google ドキュメント</p> |
| | <p>「2」現代語訳（やや難）</p> | | <p>おくの細道まとめ</p> |

【単元のゴール】 芭蕉の旅に対する考え方と、現代の旅を持つ意味を比べてみよう。
芭蕉が旅を通して見たこと感じたことをまとめよう。

【単元のゴールに到達するための目標】

- ①歴史的背景などに注意し、表現の仕方や文体の特徴に着目して読むことができる。
- ②文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考える。

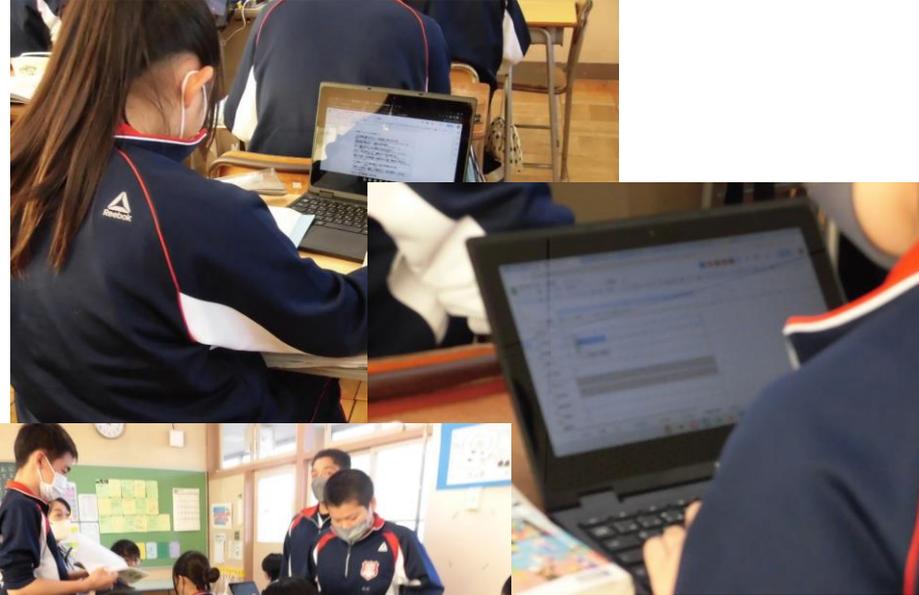
【評価方法】漢字テスト・単元テスト

- ①歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直しながら「1」「2」の音読をする。
- ②原文と現代語訳を対応させながら「1」を読む。
- ③ワークP118に取り組み、芭蕉と俳句について理解する。
- ④ワークP118～P119の下段に取り組み、現代仮名遣いに直す練習をする。
- ⑤「1」を読んで、芭蕉の旅に対する考え方をまとめる。
- ⑥教科書の脚注を見ながら「2」を現代語訳をする。
- ⑦ワークP123～P125に取り組み、P128・129の地図、P130・P131の写真を確認しながら「2」の内容を理解する。
- ⑧ワークP119の上段～P122に取り組みながら「2」の内容を理解する。
- ⑨芭蕉が旅を通して見たこと、感じたことをスライド（1枚）にまとめる。

【授業の流れ】

- 1 時間目・・・教師による単元の説明→単元の計画立て→教師による①②の説明→振り返り
- 2 時間目・・・教師による③④の説明→学習→振り返り
- 3 時間目・・・教師による⑦⑧の説明→学習→振り返り
- 4 時間目・・・単元テスト→スライド作成→単元の振り返り

振り返り【目標が達成できたかどうか、振り返ろう】



教員は事前に、クラスルームに手順や必要な資料、使用するアプリをアップロードしておき、授業が始まると生徒はそれを確認し、自分のペースで課題に取り組む自由進度学習を行っている。生徒は個で課題解決をしながらも、必要に応じて協働で取り組むなど、見通しと評価が明確化されたことで、主体的に学ぶ姿が見られるようになった。